



平成29年12月7日  
総合政策局国際政策課  
(グローバル戦略)

## 「第2回 日・ウガンダ官民インフラ会議」を開催

～「質の高いインフラ投資」促進に向けた継続的な議論を実施～

国土交通省は、11月21日(火)、アズバ公共事業省大臣を始めとするウガンダ官民代表者約50名を東京にお迎えし、「第2回 日・ウガンダ官民インフラ会議」を開催しました。

会議では、ウガンダ側からのニーズが高い「交通管理」「道路・橋梁」「建築技術」分野における協力についてこれまでの両国の取組状況を確認し、今後の活動について議論しました。また、牧野副大臣とアズバ公共事業省大臣との会談を行いました。

国土交通省では、本年1月の「第1回 日・ウガンダ官民インフラ会議」※1においてウガンダ共和国公共事業省との間で締結した「「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書」に基づき、これまで2回にわたり「質の高いインフラ対話(QID)※2※3」を開催し、ウガンダ側からのニーズが高い「交通管理」「道路・橋梁」「建築技術」の各分野において具体的な案件の実現を目指した議論を行ってまいりました。

本会議においては、交通管理のためのパイロットプロジェクトに関して、覚書を結ぶことを約束した議事録へ両国官民が署名する等、プロジェクト実現へ向けて議論の深化が図られました。

(※1) 「第1回 日・ウガンダ官民インフラ会議」(平成29年1月9日) <http://www.mlit.go.jp/common/001169305.pdf>

(※2) 「第1回 日・ウガンダQID」(平成29年4月5日) <http://www.mlit.go.jp/common/001182194.pdf>

(※3) 「第2回 日・ウガンダQID」(平成29年6月29日) <http://www.mlit.go.jp/common/001192140.pdf>

### 第2回 日・ウガンダ官民インフラ会議

1. 日 時：平成29年11月21日(火) 13:30～17:50

2. 場 所：国土交通省 中央合同庁舎2号館 地下2階講堂

3. 参加者：両国官民合計で約120名

(日本側) 国土交通省：牧野副大臣、首藤大臣官房審議官、大澤大臣官房参事官 等  
アフリカインフラ協議会(JAIDA) 会員企業：27社

(ウガンダ側) 公共事業省：アズバ大臣、バゴンザ局長、駐日ウガンダ大使館：オクロ大使  
国会インフラ委員会：ナカテ議長、UNRA(ウガンダ道路公社)、KCCA(カンパラ市事務局)、  
UNABCEC(ウガンダ建設企業組合)、UACE(ウガンダ技術士協会) 等

4. 結果概要：別紙参照



牧野副大臣挨拶



会議の様子

問い合わせ先

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 岡田、樋口

電話:03-5253-8111(内線:25206、25225) 直通:03-5253-8314 FAX:03-5253-1562

## 1. 「第2回 日・ウガンダ官民インフラ会議」

1. 日時：平成29年11月21日(火) 13:30～17:50

2. 場所：国土交通省 中央合同庁舎2号館 地下2階講堂

3. 参加者：両国官民合計で約120名

(日本側) 国土交通省 牧野副大臣、首藤大臣官房審議官、大澤大臣官房参事官 等、  
アフリカインフラ協議会 (JAIDA) 会員企業：27社

(ウガンダ側) 公共事業省 アズバ大臣、バゴンザ局長、駐日ウガンダ大使館 オクロ大使、国会  
インフラ委員会 ナカテ議長、UNRA (ウガンダ道路公社)、KCCA (カンパラ市事務局)、  
UNABCEC (ウガンダ建設企業組合) 会員企業、UACE (ウガンダ技術士協会) 会員企業 等

## 4. 結果概要：

### 〔第1部：開会挨拶・基調講演〕

- 会議冒頭、牧野副大臣より、「ウガンダの更なる発展に向け、インフラの整備や更新に、多くの日本企業が関わり、日本が貢献できることを願っている」と挨拶し、アズバ大臣より、「本会議によって、二国間の協力が促進されるとともに、ウガンダと日本の官民間のネットワークが形成されること」への期待が示されました。
- 基調講演では、大澤大臣官房参事官より、日本政府・国土交通省によるウガンダにおけるこれまでの取組を踏まえ、JAIDA会員企業がウガンダでのビジネスに高い関心を持っている点、さらに、「質の高いインフラ」の重要な要素について紹介しました。その後、バゴンザ局長より、本年1月の第1回会議以降に実施された両国間の取組とそれぞれの進捗が示されました。
- さらに、国土交通省、豊田通商株式会社、ウガンダ共和国公共事業省及びカンパラ市の間で、交通渋滞管理のためのパイロットプロジェクトに関して覚書を締結することを約束した議論の議事録が交換されました。

### 〔第2部：ワークショップ〕

- ウガンダ側からのインフラニーズの高い「交通管理」「道路・橋梁」「建築技術」の分野別にワークショップを実施しました。ウガンダ側より各分野において日本に期待しているニーズにつき紹介し、日本側からはウガンダからのニーズにあわせた「質の高いインフラ」に関する取組を説明し、今後の具体的な案件形成に向けた活動について両国で議論を行いました。

### 〔第3部：ビジネスマッチング〕

- 日本企業が個別のブースに分かれ、関心を有するウガンダ企業等と面談を実施しました。両者の間で活発な情報交換を行い、日本企業とパートナーとなり得るウガンダ企業等との間で関係構築を行いました。



アズバ大臣挨拶



議事録の交換

## 2. 牧野副大臣とアズバ大臣との会談

- 日時：平成29年11月21日(火) 14:45～15:30
- 首都カンパラ市における立体交差事業や交通分析システム等による交通渋滞対策、JAIDA会員企業の取組等について意見交換を行いました。
- 牧野副大臣は、「官民一体の取組を推進することが、ウガンダのインフラ整備に貢献すると確信している」と述べました。アズバ大臣からは、日本の技術移転、合弁事業、メンテナンスにおけるアフターサービス等の重要性について言及がありました。



## 3. インフラ視察

- 日時：平成29年11月22日(水) 9:30～17:00
- ウガンダ代表団は、最先端の土木技術・防災技術を結集して建設した世界最大級の施設である首都圏外郭放水路（埼玉県春日部市）、道路の建設・補修の高度化に対応した建設機械の生産工場である酒井重工業株式会社生産センター（埼玉県川越市）を訪問し、我が国の「質の高いインフラ」の実例を視察しました。



首都圏外郭放水路視察



建設機械のデモンストレーション